

IUHW

The gazette of the International University of Health and Welfare

第20号

発行：学校法人国際医療福祉大学
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線7108



“マジリレー”に真剣に挑む各科代表選手達



バンの中身は何？



紅白仲良く引き分けた王入れ



女子学生に囲まれてごきげんの大谷学長



理学応援団員の雄姿

(撮影：情報メディア部 牛山雅英)

＝ 目 次 ＝

ページ	ページ	ページ
運動会 2	ボランティア委員会 3	言語聴覚障害学科 6
出来事 2	情報化委員会 4	放射線・情報科学科 6
学長の日程から 2	国際交流委員会 4	医療経営管理学科 6
大学来訪者 2	就職委員会 4	医療福祉学科 6
「おめでとう！第2回同和火災海上 保険株式会社奨学生決定」 2	IUHW生国際活動あれこれ 4	語学教育センター 6
お知らせ 2	ネパールキャンプに参加して 4	情報教育センター 6
入試事務室 2	ネパールの海外 ボランティア体験記 4	医学教育センター 6
図書館利用について 3	北欧の医療・福祉・看護 研修旅行に参加して 5	言語聴覚センター 6
部・委員会報告 3	ハンセン病セミナー開催 5	教員紹介 7
国際協力部 3	学科・センターだより 5	19号のクイズの正解 7
情報メディア部 3	看護学科 5	当選者発表 7
教務委員会 3	お知らせ 5	サークル紹介 8
紀要委員会 3	作業療法学科 5	リレーエッセイ 8
広報委員会 3		編集後記 8
		IUHWクイズ 8

運動会

◇熱い日射し/熱い声援/熱い闘い/

5月23日、第3回国際医療福祉大学運動会が熱い日射しの中開催されました。学生、地域住民あわせて約1600人も人が参加して行なわれた運動会は、例年にも増して盛り上がり、放射線・情報科学科の優勝で幕を閉じました。

理学療法学科は本年も熱い応援団で会を盛りあげ、2学年と人数が少ないながらも、医療福祉学科は総合2位など、どの学科も熱い声援、熱い闘いをくり広げました。地域の皆さんも多数足を運んでいただき楽しい一日となりました。(福引きでプレイステーションがあたったおばあちゃんは今ごろTVの前で夢中なのであろう…)(看護4年 吐師秀典)



優勝した放・情科学科学生達

出来事

◇学長の日程から

- *平成10年3月9日(月)
さわやか福祉財団理事会
- *平成10年3月20日(金)
メンタルヘルス岡本記念財団理事会
- *平成10年3月24日(火)
国立リハビリテーションセンター運営委員会
- *平成10年3月25日(水)
フランスベッド財団理事・評議員会
- *平成10年3月27日(金)
予防医学事業中央会理事会
- *平成10年3月31日(火)
家族計画国際協力財団理事会
- *平成10年4月28日(火)
公衆衛生院特別講義

◇大学来訪者

- *平成10年3月3日(火)
県北産業保健婦研修会 11名
- *平成10年3月25日(水)
福島県立喜多方高校 遠藤良市教諭
- *平成10年3月26日(木)
福島県立喜多方女子高校 上野明彦教諭

◇「おめでとう」

第2回同和火災海上保険株式会社奨学生決定



同和火災海上保険㈱が、同社創業100周年記念事業の一環として、昨年度より本学に設けてくださった「同和火災海上保険奨学金制度」の第2回奨学生7名が決定、6月より給付が始まりました。

給付開始に先立ち、去る5月14日には東京都中央区と同和火災海上保険㈱本社において、岡崎会長、須藤社長をはじめ、本学の高木理事長や大谷学長も列席の上、奨学生の認証式が執り行われました。

この奨学金は、医療福祉に貢献する人材の育成を目的として、同社が特に本学の学生のために給付して下さるもので、今年度は奨学生1名当たり年額60～100万円、総額500万円が給付され返済の必要はありません。今回の募集には全学から留学生5名を含む全31名の出願があり、厳正な審査の結果7名の奨学生が決定しました。

第2回の奨学生に決定したのは次の皆さんです。
高田恵子(看護2年)、劉建華(理学1年)、
山下麻里(理学2年)、陳立嘉(作業1年)、
菅原寛(作業2年)、大谷内秀子(言語2年)、
鈴木淳平(放・情2年)

また、昨年度選ばれた第1回奨学生7名の皆さんの給付継続が決定しています。

お知らせ

◇入試事務室

98年度学科別男女別志願者・入学者集計表

学 科 名	志 願 者 数			入 学 者 数		
	男 子	女 子	計	男 子	女 子	計
看護学科	81	911	992	13	116	129
理学療法学科	938	876	1,814	49	54	103
作業療法学科	237	640	877	22	80	102
言語聴覚障害学科	122	506	628	17	86	103
放射線・情報科学科	465	203	668	80	49	129
保健学部小計	1,843	3,136	4,979	181	385	566
医療経営管理学科	177	107	284	70	57	127
医療福祉学科	325	375	700	49	79	128
医療福祉学部小計	502	482	984	119	136	255
合 計	2,345	3,618	5,963	300	521	821

◇図書館利用について

図書館には「医学中央雑誌」・「MEDLINE」の2種類の文献検索CD-ROMがあります。医中誌は和文、MEDLINEは英文です。キーワード等で検索した文献の書誌事項を知ることができます。

参考文献を探すため、毎日大変混雑していますが、今まで利用する際の規則はありませんでした。その為不愉快な思いをした方もいると思います。その改善策として今後は1人30分までとし、予約制で行いますので、よろしく願います。(図書館)

部・委員会報告

◇国際協力部

ケニア国・コメディカルカレッジプロジェクト

について

チームリーダー、臨床医学センター・山崎統四郎教授から次のメッセージが届きました。「このプロジェクトはケニアの医療技術者の9割を供給するKenya Medical Training College (KMTC)の教員の質の向上に重点が置かれています。KMTCは本学と同様、看護婦、OT、PT、放射線技師を養成しているほか、準医師 (Clinical Officer)、栄養士などを養成する計16の学部からなっています (地方校を含め、学生数約6,000人)。ケニアでは医師等が絶対的に不足しており、地方での保健医療の担い手は約100% KMTCの卒業生です。従ってKMTCの強化はケニア保健医療行政の最重要課題の一つとなっています。皆様のご理解、ご協力をお願い致します。」 (長谷川豊)

◇情報メディア部

情報メディア部が昨年6月に発足して、ちょうど1年。この間、学内ネットワークの立ち上げ、大学ホームページ作成、大学紹介ビデオ制作、学科紹介ビデオ制作などを行いました。年間を通じて大学・学科のイベントをビデオ・写真で記録してきました。これからは順次ホームページや学科紹介ビデオに織り込む計画です。また事務システムの開発や、関連施設に対する支援も行いました。6月はじめに開所式を行なう、北京リハビリセンターと本大学を通信衛星でつなぐ「遠隔リハビリテーション教育」プロジェクトでは、ビデオ教材制作や講義・教育放送送出などを受け持ちます。皆様のご支援をお願いいたします。(熊野信雄)

◇教務委員会

カリキュラム改正の一つの視点

「教養があるとはどういうことか」の議論が巷でされています。人間は他の動物と違い、「自由の刑に処されている」とサルトルは言いました。人間は自らの自由によって行為を選ばなければならないとすれば、

そこにわれわれはどうしても自分の行為を選ぶための原理を考えないわけにはいきません。

検討中の新しいカリキュラムは、学生の考える自由を奪うことのないように、教養科目 (総合教育科目) の見直しを一つの視点としています。(杉原素子)

◇紀要委員会

平成9年度最後の第12回紀要委員会を3月24日(火)、平成10年度第1回紀要委員会を4月21日(火)に開催し、紀要第3巻の論文審査状況の確認と査読上の問題等を議論しました。なお、今年度の紀要委員会では、長谷川豊先生 (福祉) が相原和子先生 (福祉) に替わられ、千葉礼子先生 (語学) がご参加下さることになりました。その他は前年度と同じで、野原功全 (委員長、放・情)、都築正和 (副委員長、医教)、福島道子 (看護)、秋山純和 (理学)、田川義勝 (作業)、大石敦子 (言語)、牧野元治 (放・情)、橋本進生 (経営)、三井速雄 (総合) および森田耕喜 (語学) の各委員です。(野原功全)

◇広報委員会

平成10年度委員会構成：寺沼幸子・須佐公子 (看護)、京藤昭彦・窪川 徹 (理学)、菅原洋子・濱口豊太 (作業)、◎伊藤元信・飯塚直美 (言語)、清水慶昭 (放・情)、橋本正弘・加藤雄二 (経営)、田澤 薫・本多 勇 (福祉)、○宮尾洋子・宮崎路子 (語学)、桑原英晴 (事務局) ◎委員長；○副委員長

「IUHW」の発行予定日と編集担当者：20号 (6月10日、宮尾、橋本、須佐)、21号 (7月16日、宮崎、濱口、本多)、22号 (10月20日、寺沼、菅原、田澤)、23号 (12月1日、京藤、清水、加藤)、24号 (1月20日、飯塚、窪川) (伊藤元信)

◇ボランティア委員会

新年度、第1回委員会を4月21日に開催。①4月21日(月)18時からE101教室で、新入生などを対象として「ボランティア活動の案内」と題してボランティア委員会主催でボランティアサークル紫陽花の協力を得て、はじめてのオリエンテーションの会合を開催することにしました。②また、4月末から金田地区社会福祉協議会からの依頼により給食サービスのボランティアに8名の学生が参加することになりました。(福祉4、看護2、言語2) ③その他、地域から依頼のあるボランティアについて検討 (大田原市内特別養護老人ホームの年間を通してのボランティア、南那須町社会福祉協議会からの在宅脳性マヒ児童のボランティアなど)、掲示して学生募集をすることにしました。

(鈴木五郎)

◇情報化委員会

平成10年4月22日(休)に平成10年度第1回の情報化委員会を開催しました。完成年次を迎え卒研や実習、演習に高度なパソコン処理を行いたいという希望が増えてまいりましたので、全学的にどの程度の新規パソコン導入要望があるのかを調査しその是非について検討を行いました。各科で利用目的が異なりますが、計測機器と接続し高度な分析の実施や専門のソフトウェアを利用などということでは一致しております。いずれも、学生の教育・指導には欠かせない機器であり、委員会として早々の実現を希望という結論に至りました。また、学外からのメール利用、図書システムの検索、掲示板の現状報告を行いました。保守契約など経費的な問題が残っておりますが、技術的には全てクリアされて、近々の実現に向けて準備を進めています。

(樽澤一之)

◇国際交流委員会

新年度の委員は次の方々です。池松裕子・川口恭子・住吉繁子(看護)、○藤沢しげ子・斎藤昭彦(理学)、福田恵美子(作業)、城間将江(言語)、牧野元治(放・情)、高橋淑郎(経営)、長谷川豊・林玉子(福祉)、○都築正和(医教)、細井良三(情報)、南井紀子・◎田中美子(語学)、秋吉香代子・古澤利幸(事務局) ◎委員長、○副委員長

留学生として、理学に尹吳鎮(韓国)・劉建華(中国)、作業に陳立嘉(中国)の3君を迎えました。

本年度の国際ボランティア、視察、研修活動の計画は、第2回目のベトナムと、新たにアメリカ、中国、オーストラリアです。近く詳細を発表します。

『'97国際ボランティア活動報告書』が完成し、関係者に配布、学生も閲覧できます。(図書館、LL教室)

図書館に「国際交流コーナー」が出来ました。充実を図りますのでご利用下さい。

委員会、4月14日(火)、5月12日(火) (田中美子)

◇就職委員会

平成10年度委員会構成：○寺沼幸子(看護)、藤沢しげ子(理学)、田川義勝(作業)、◎伊藤元信(言語)、○熊野信雄(放・情)、島津望(経営)、東口重信(福祉) ◎委員長、○副委員長

当面の作業

- 1) 就職パンフレットと求人票の送付先の決定、送付。
- 2) 就職資料室の整備(パソコン導入を含む)。
- 3) 1期生の就職対策の検討。

(伊藤元信)

IUHW生国際活動あれこれ

◇ネパールワークキャンプに参加して



3月の末に中高生対象のネパールワークキャンプに参加しました。主なワーク内容はハンセン病病棟のペンキ塗りでした。患者さんへの伝えたい想いは折り紙や歌に託し、肌と肌の触れ合いが心のつながりを深めてくれました。ためらいも不安もいつしか消えていた日々。それはネパールの人々や仲間達の心からの温かい笑顔が、自分の存在の大切さを教えてくれたからです。小さな感動と限りないものへの感謝と人や自然の愛に心満たされ、「生きてる」と思いきり感じながら生きた幸せな日々でした。(看護3年 森あゆ美)

◇ネパールの海外ボランティア体験記



私は、3月11日から3月29日までADRA国際青年協力隊としてネパールへトイ教育のための人形劇のボランティアに行ってきました。水も電気もない小さな村から私立の学校まで様々な所で公演した中で、ネパールの貧富の差をとっても感じました。しかし、生活のレベルが異なってもみんな笑顔が素敵なネパールの人達には変わりありません。私は、自然体で生きる事の大切さを改めて実感しました。しかし、ボランティアの難しさを知ったのも事実です。現地の人にあったやり方でボランティアを実践する事が大切で、長い目を持つ事が必要である事を学びました。又、英語によるコミュニケーションの必要性を痛感しました。

私はこのボランティア経験を大切にして、さらに語学力を身につけ、国際協力のあるべき姿を考えていきたいです。(放・情4年 藤本恵美)

◇北欧の医療・福祉・看護研修旅行に参加して

3月18日からの25日の北欧研修旅行では、デンマーク、フィンランド、スウェーデンを訪れ、高齢者ケアレクチャー、ナーシングホーム見学、ストックホルム市行政の保健・福祉レクチャー、総合病院訪問・研修に参加しました。教育費、医療費は無料で、必要なサービスが必要な時に受けられる背景には、収入の約3割の税金を納め、全世帯の55%が一人で暮らし、既婚女性の85%が仕事をしています。どの年代の人も生き生きとした表情をしていたことが、私の思い出に残っています。
(看護4年 徳永久美子)



◇ハンセン病セミナー開催

ーフィリピンからふたりの女性を招いてー

フィリピンのタラ村にはハンセン病療養所があります。栃木YMCAではタラ村の青年との交流プログラムを組んでいます。昨年暮れにタラ村ワークキャンプに参加したことが縁で、5月7日日本学にてYenさん(右から2番目)と元患者さんのClaryさん(左から2番目)を招いてハンセン病セミナーを開きました。学長の日本におけるハンセン病の歴史についての講義の後、タラ村で生まれ育ち、病にかかり、克服した真摯な「こころ」の軌跡をたどることができました。6月から教節になるという二人に勇気をもらいました。
(作業4年 原 範枝)



学科・センターだより

◇看護学科2年生が「決意式」を主催



—看護実習に臨むに当って決意も新たに—

2年生は5月6日クラス行事として「決意式」を主催しました。これは実習に臨むに際し看護学生としての姿勢を示すもので、開学以来初めてのことで、学生達は1年次から委員会を作り準備をすすめ、ようやく実施の運びとなったものです。式は大谷学長・荒井学科長の挨拶で始まり、決意宣言、教員から学生個々へ白いカーネーションの贈呈、実習担当教員からはなむけの言葉と続き、最後に全員集合写真を撮って全て終了しました。爽やかな学生の表情が印象的でした。白い花をいかに染めるのか楽しみです。(城ヶ端初子)

□お知らせ



看護学科4年生小室貴子さんが、平成10年5月18日(月)クモ膜下出血のため急逝されました。

小室さんは、社会人入学(看護婦有資格)の学生で看護、特に地域看護に関心を寄せており、来春卒業後の活動が期待されておりました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

◇作業療法学科

第32回日本作業療法学会が宇都宮で開催

新年度が始まって早くも2ヶ月が過ぎていきます。それぞれ心機一転がんばっていることでしょうか。特に4年生は卒業研究に国家試験勉強に、そして就職に向けてと忙しい日々を送っていることでしょうか。備えあれば憂いなし、まだまだ時間のある今のうちから少しずつでも準備を怠らぬに。

さて、6月17日から3日間、宇都宮で第32回日本作業療法学会が開催されます。事務局が当大学にあり、栃木県内の作業療法士総力をあげて学会を盛り上げます。学生のみなさんもぜひ参加して下さい。

(濱口豊太)

◇言語聴覚障害学科

4年生の臨床実習始まる

本学科では、新学期とともに4年生の臨床実習が始まりました。新4年生となった89名の学生は未知の臨床の場でさまざまな経験および学習をすることになります。本学科の臨床実習は学内の言語聴覚センターと学外の実習協力施設で行うことになっており、約半数ずつが前期と後期に分かれて各施設で実習を受けます。学外実習の協力を頂ける施設は北海道から沖縄まで74施設に及び、学生は大きな期待と少しの(?)不安を胸に全国に飛び立っていきました。実習を通じてどのような自分を発見して帰ってくるか楽しみです。

(藤田郁代)

◇放射線・情報科学科

4月10日(金)理事長、学長ならびに各学科長、センター長、事務局役職の皆様のご参加をいただき、高エネルギー室においてリニアック装置の火入れ式を行いました。当学科としてはこの日を迎えたことの喜びとともに、その活用に関心を新たにしております。

4月17日(金)午後6時から新入生歓迎会がカフェテリアで催されました。1年生は最初の1週間の授業を終えたところでもまだ緊張の面持ちでしたが、会終了の頃にはだいぶ和やかになっておりました。4年生からは春休み中に海外でのボランティア活動などで充実した日々を送ったとの情報が入ってきました。

(野原功全)

◇医療経営管理学科

日本ではじめての学科2回生入学

晴れた入学式、今年も希望に満ちた新入生を迎えることが出来ました。日本ではじめての医療経営管理学科も、広島国際大学に今年から2番目の学科が開校され、文部省から設置の認可にあたり、国際医療福祉大学と協力するという条件が示されたとのことでした。わが国でもこの分野の必要性が知られはじめたと思われれます。

恒例の新入生歓迎会が2年生の主催で4月21日行われ、カフェテリア2階で教員学生の交流が遅くまで続けられました。

(紀伊國献三)

◇医療福祉学科

学生・教員とも二倍増ノパワーアップの新学期

この春、全教員14名が揃って新入生を迎えました。

1年生は、教科履修とは別に6つのクラスに分かれています。担当教員のもとで、学生生活の不安を解消し、学びたいことを具体化されますように。

2年生はゼミⅠ(社会福祉援助技術演習)がスタートしました。学生10数人に教員1人のゼミナールで大

学生気分満喫でしょうか。レポーターにあたった週は、図書館の鬼になるなり、徹夜するなり、友達と合宿するなり、教員を質問せめにするなり、大いにゼミを盛り上げて下さい。

(出澤 薫)

◇語学教育センター

タイム誌の記事紹介：「今世紀における偉大な演説を4つ挙げると」

4月13日付けのアメリカ・タイム誌にFour of the Century's Greatest Speechesという特集記事が掲載されケネディ、ルーズベルト、チャーチル、そしてキング牧師の有名なスピーチのさわりの部分が引用されています。この内2つは学長杯英語スピーチコンテストの題材に使われた演説だけに、3・4年生にとっては馴染み深い英文であるはずですが、コンテストでの皆の見事な演説ぶりを思い出し、胸を打つ偉大な演説の英文の数々がそれぞれの記憶の中に長くとどまってくれようにと願いながら、記事を読みました。

(南井紀子)

◇情報教育センター

新コンピュータの導入

わずか3年しか経ちませんが、情報処理教室のコンピュータが老朽化したため、新品と入れ替えました。メーカーは同じNECですが中身は大きく変わり、他社(マックを除く)と互換性のある「世界標準」と呼ばれるものです。ワープロと表計算ソフトも、ワードとエクセルに変わりました。なお、2年生以上も困らないように、大部分では一太郎とロータスも使用できます。引き続きご愛用下さい。

(平林 誠)

◇医学教育センター

一新しくセンター長を仰せつかりました

この2年間お努めになった間藤方雄教授の後任として4月1日から就任いたしました。本センターは各学部、各学科の横制的組織としての役割を持つものですが、医学教育に関連する内容を受け持つ学生教育のために貢献することを目標としてきました。各学科からのご要望にお答えして良い教育を効果的に行っていくことが第一の使命であると存じます。今まで3年間の経験を踏まえて将来の教育をどのように発展し拡充していくべきか真剣に検討すべき時と存じます。皆様方からのご鞭撻をお願いいたします。

(都築正和)

◇言語聴覚センター

言語聴覚センターでの臨床実習がスタート

言語聴覚障害学科の4年生が、4月27日から、810時間の臨床実習を開始しました。4年生全員が学外および学内の実習を体験しますが、現在言語聴覚センター

に出入りしている学生達は、学内実習を先に行なうグループです。10名前後で構成された4班が、順次、小児の言語障害、成人の言語障害、発声発語障害および聴覚障害の臨床を体験しています。これまで3年間に学んできたさまざまな知識・技能を臨床の場でどのように実現するかが問われる最終学年の課題と向き合っており、学生たちの表情はいつになく真剣で生き生きとしています。(笹沼澄子)

教員紹介

(毎号、各学科・センターから1名ずつご紹介頂きます。)

①所属・職位②生年③出身校④専門分野⑤直前の勤め先⑥主要著書・論文どちらか1点のみ⑦本校における担当科目⑧趣味。

川口 恭子 (かわぐち きょうこ)



①看護学科・講師②19??年③聖路加看護大学、ノースカロライナ大学大学院(チャペルヒル校)④開発途上国における保健⑤日本キリスト教海外医療協力会⑥パングラデシュにおける保健ボランティアの育成⑦地域看護学⑧歌を歌うこと、旅すること、音楽を聴くこと(シャンソン、ジャズ、クラシック等)、読書、朝寝

藤井 菜穂子 (ふじい なおこ)



①理学療法学科・講師②5月20日③杏林大学大学院保健学研究科④理学療法(運動学等)⑤東京都立医療技術短期大学⑥上肢エルゴメータ駆動時の運動パフォーマンスと心拍数⑦機能能力診断学、神経系理学療法Ⅱ、運動療法学Ⅰ、身体運動学実習、運動生理学実習、機能能力診断学実習等⑧山登り(しばらく出掛けていませんが)

古川 昭人 (ふるかわ あきひと)

①作業療法学科・講師②1949年③九州リハビリテーション大学校、熊本学園大学④身体障害の作業療法(生活



行動学領域)⑤熊本リハビリテーション学院⑥ADLとその周辺⑦地域生活作業療法学⑧山登りと川下り(カヌー)とキャンプの戸外活動、ラグビーとジョギングの健康維持活動、それと作業療法学を迷想する事でしょうか…?

佐々木 有紀 (ささき ゆき)



①言語聴覚障害学科・技術助手②1970年③横浜国立大学④言語発達遅滞⑤生活ホームピノキオ⑦演習などの助手⑧サイクリング、歌を歌う(カラオケではありません)

山沖 和秀 (やまおき かずひで)



①臨床医学センター・教授②1952(昭和27)年1月28日③東京大学医学部④循環器内科学⑤東京大学医学部附属病院第三内科⑥「患者の病態生理と薬物投与」(薬事時報社)、1997⑦作業療法学科2年内科学、看護学科3年臨床看護論Ⅱ・循環器内科⑧コンピューターで暇つぶしすること。特にマックとDOS/Vのネットワークに囲まれ、それぞれのエラーを相手に毎日戦うことが生きがい(!?)他には、落語・洋画鑑賞など。yamaoki @ air. linkclub. or. jp

佐々木 龍平 (ささき りゅうへい)



①臨床医学センター・教授、健康管理センター副センター長(クリニック内科担当)②1941年③東京大学医学部④内科・血液学(特に造血器腫瘍)⑤自治医大血液内科⑥Transient populations of terminal transferase positive(TdT⁺)Cells in Juvenile rats and mice.J.Immunol.,1980⑦内科、医学概論、臨床医学概論、一般臨床医学、臨床看護論Ⅱ⑧外国語(英語、独逸語、ロシア語、中国語)中国語は現在学習中です。水泳、スキー、テニス、クラシックギター、将棋(アマ5段)、ハイキング

第7回IUHWクイズ当選者発表

多数応募の中から正解者は24名でした。厳正な抽選により経営2年小林真里子さんが第7回IUHWクイズの当選者に決定しました。正解は下記の通りです。ご協力ありがとうございました。

正解

問1. 1.

問2. 2.

問3. 2.

問1. 821名の新生を迎え入れた本学の全学生数は約何名?

①約2700名 ②約3200名 ③約3800名

問2. 本学全学生の男性と女性の比率は?

①2:8 ②4:6 ③9:1

問3. 本学で一番座席数が多いF101講義室の全座席数は?

①500席 ②600席 ③700席

サークル紹介

サッカー部

栃木県大学サッカーリーグに向けて

サッカー部は現在、栃木県大学サッカーリーグに向けて練習を行っているところです。新生が大勢入り、1年生から4年生まで70名程のクラブとなりました。つい2、3カ月前まで5人程でサッカーをしていたとは思えない程活気にあふれています。栃木県大学サッカーリーグは宇都宮大、足工大、作新大、帝京大、白鷗大、小山工専、そして我が大学の7校で争います。6月14日の宇大戦からリーグが始まります。まず1勝することを目指して頑張りますので、皆様の応援をよろしくお願いします。(理学2年 生井真樹)

編集後記

那須連山の雪が消え田植えが終わると自然はいっきに初夏の装いです。日々緑の濃さを増す若葉に似て、開学4年目の本学学生たちも勉学や実習に加えてキャンパス内外での体験を深め、まぶしい程の成長を見せています。本号ではそのような国際活動の体験記を特集しました。海外でのボランティアや研修をとおして人と出会い、異文化を学ぶ学生たちはとりもなおさず本学の「共生」の理念を内実化し、ごく自然に体現しています。運動会の記事に併せてIUHW生の溢れるエネルギーを感じ取って戴ければと願っております。

(宮尾洋子)

リレーエッセイ

「逆説」ということから……。

医療福祉学科 山崎 順子

「逆説」ということから「社会性の発達」について思い出すことができます。社会性の発達、一つの逆説の上に築かれる生涯過程と考えるからです。この逆説は、私達が社会的な存在であると同時に個別的な存在であること、一人であると共に様々な形で他者とも結びついていることを意味します。発達過程において、私達はよりうまく他者と結びつくことができるようになり、また同時に他者との違いを認識することが可能になります。つまり、一方で私達は個別化して独自性を持つようになりながらも、他方でより社会的になると考えることができます。

もちろん、逆説は単に見せかけ上対立しているのであって、真にそうではありません。両者は社会化機能と個性化機能という相補的な2種類の発達機能と考えられ、これらの二つの機能は私達を逆の方向へ持っていくように思われるが、本当は密接に絡み合っているであり、個人が成長し、社会適応を遂げることに貢献するのです。

次回執筆者：矢野 聡先生(医療経営管理学科)

IUHWクイズ ー第8弾ー

今回は国際医療福祉大学の所在地大田原市に関するクイズです。

解答番号を書き込み、事務局窓口外側のメールボックスへ。全問正解者から、抽選で1名の方に全国共通遊園地券をペアで差し上げます。応募資格は本学の学生で、1人1通、〆切は6月30日。

キリトル

学科 _____ 学年 _____

名前 _____

解答

問1. _____

問2. _____

問3. _____

キリトル

キリトル

賞品はなんと全国共通遊園地券をペアで!



問1. 大田原市と西那須野町と黒羽町を合わせた人口は何人でしょう。

①5万未満 ②5万人以上～10万人未満 ③10万人以上

問2. 大田原市の市長の名前は?

①一保市長 ②高木市長 ③千保市長

問3. 大田原はこれで有名。

①竹細工 ②小砂焼(こいさごやき) ③日本茶